

令和3年度 関係人口創出・拡大のための中間支援モデル構築に関する調査・分析業務
業務実施報告書

団体名	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所
事業名	“ブロックチェーン技術を活用した地域と人のつながりの可視化”による関係人口創出・拡大プラットフォーム構築事業

1 事業概要・主な成果

1.1 事業概要

(1) 関係人口の「可視化」を通して全国のプロジェクトを応援

近年、国及び各地域において、交流と移住の間にある「関係人口」の拡大に向けた取組が進んでいます。一方で、この「関係人口」は新しい概念であるがゆえに、交流人口や定住人口と異なり、定量的な統計手法が現時点において確立されていません。

「自らの地域が、どのような人々とどのような関係を持っているのか」「他地域と比べてどんな特徴があるか」こうした情報は、各地域にとって、施策推進上の礎となる重要な情報です。

また、地域との関わりを持とうとする人々にとっても、「自分がどの地域とどのような関係にあるのか」を知ることは、つながる喜びを刺激し、関係人口の“習慣化”へとつながる効果なども期待できます。

こうしたことから、本事業では、地域、個人、双方の観点から、関係人口の状況を定量的に可視化し、「地域とつながりたい」という意欲の喚起と、「たくさんの人たちとつながりたい」という地域の思いを目に見えるかたちで結びつけることを通して、全国の様々な関係人口関連プロジェクトを応援するプラットフォームを構築する実証事業を実施しました。

具体的には、可視化ツールとして、ブロックチェーン技術を活用して個人の社会貢献のアクションを定量的に可視化するオンラインサービス「actcoin（アクトコイン）」を活用し、個人と地域を繋ぐさまざまな活動を定量化しました。

1.2 主な成果

(1) 関係人口の日常の「地域とつながる行動」の”見える化”に成功

本事業では、関係人口創出に積極的に取り組んでいる3地域と連携し、各地で実施されている22の取組を特設サイトに掲載しました。あわせて、毎日のちょっとした地域とつながる行動を、デイリーアクションとしてactcoinに登録できる仕組みを導入し、関係人口が日常的にとる行動を分析しました。

その結果、登録した関係人口が実施する日常の「地域とつながる行動」が、どのような相関関係を持っているかを定量的に分析することができました。

たとえば、地域と関係するイベントに参加することと、地域の情報を発信すること・地域産品を購入することは強い相関があることが分かりました。一方で、地域にいる人と連絡をとりあうことと、地域の情報を発信することには相関が見られませんでした。こうした行動の相関は、これまで感覚的に認識されていたものが、定量的に“見える化”することができたと言え、一定の意義があったものと考えています。

相関係数	発信	購入	訪問	コミュニケーション	イベント参加
発信	1				
購入	0.72	1			
訪問	0.19	0.34	1		
コミュニケーション	-0.05	0.60	0.16	1	
イベント参加	0.99	0.75	0.31	-0.03	1

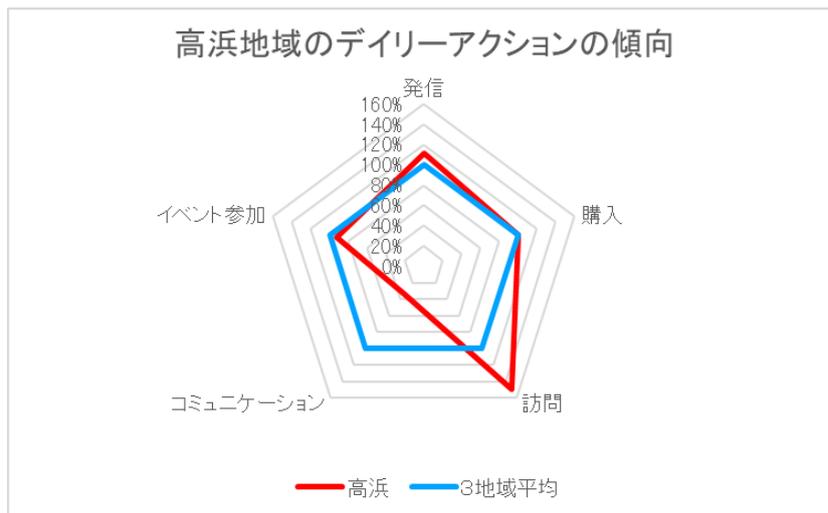
(2) 地域の関係人口の特徴と傾向の”見える化”に成功

各地域のイベント・取組への参加を登録した人の属性や、各地域のデイリーアクションの登録数を分析することで、それぞれの地域の関係人口の特徴や傾向が見えてくるようになりました。

たとえば高浜地域の関係人口創出プロジェクトでは、扱うテーマによって参加する年代・性別に違いがあることが分かりました。「歴史」をテーマとしたイベントは50代以上の参加者が多く、「働き方」に関するイベントや取組には、20代または40代の参加者が多いことが分かりました。

	テーマ	オンライン/ オフライン	10代		20代		30代		40代		50代以上	
			男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
ワクワク子育てアップデート	子育て	オンライン	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0
おいしい循環	食	オンライン	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1
京都・奈良のつながり	歴史	オンライン	0	0	0	1	2	0	1	1	3	2
ワクワク日本海ワーケーション	働き方	オンライン	0	0	3	2	1	0	3	1	1	1
ワーケーション	働き方	リアル	3	2	0	4	2	0	3	2	0	0

また、高浜地域の関係人口が実施する日常的な「地域とつながる行動」を分析した結果、3地域の平均と比べると、「地域への訪問」を実施する人が多く、「コミュニケーション」を実施する人は少ないということが分かりました。



これらの分析結果は、今年度の登録者のみでの分析結果であるため、信頼性が高いとは言えませんが、今後数を増やしていくことによって、当該地域の関係人口の特徴が精緻化されていくことが示唆されました。こうして可視化した分析結果は、それぞれの地域がとるべき今後の関係人口の戦略や個々の取組の検討に資するものになると考えています。

2 モデル事業実施地域の概要と課題

2.1 事業実施地域の概要・課題

(1) 事業実施地域の概要

本事業では、関係人口創出に積極的に取り組んでいる3つの地域（千葉県南房総地域、福井県若狭高浜地域、新潟県長岡市川口・山古志地域）を対象にモデル事業を実施しました。



(2) 実証地域で求められる関係人口像

本事業では、多様な関係人口の実態を把握することを目的としているため、特定の関係人口に特化することはしていません。たとえば、その地域への訪問やイベント参加はしていなくても、日々の買い物の中で意識して地域産品を購入している方など見える化したいと考えました。

ただし、イベント・取組を企画するにあたって、各地域で求められる関係人口像を下記のとおり設定し、事業運営にあたりました。

地域	求められる関係人口像
千葉県南房総地域	(ちょこっと先の暮らし方) <ul style="list-style-type: none"> ・フードロスや海ゴミ問題など SDGs の実践者 ・持続可能な里山を維持する週末里山づくりの担い手 ・二拠点ハンター、二拠点 DIY 実践者
福井県若狭高浜地域	(ZEN をテーマとしたワーケーション) <ul style="list-style-type: none"> ・アジア初のブルーフラッグを取得した美しいビーチのファン ・ZEN (禅、然、膳、善、全…) をテーマとしたワーケーション ・Well-being な時間の過ごし方
新潟県長岡市川口・山古志地域	(地域の暮らしと文化を未来に繋ぐ) <ul style="list-style-type: none"> ・農業、食、田舎ぐらしなどの各種の体験をするファン ・錦鯉、闘牛など、地域文化の継承の担い手 ・震災からの復興に寄り添う地域外の人

2.2 関係人口創出・拡大に関わる取組みのビジョン・テーマ設定

(1) テーマ設定

本事業では、「個人と地域のつながりの可視化」をテーマにモデル事業を展開しました。

多様な関係人口の実態が見える化するために、具体的には以下の6つの行動について、actcoinによる可視化を図ることとしました。

可視化するアクション	具体的活動例
e-VISIT	オンラインを活用した交流事業
参加	各地域が募集する関係人口関連プロジェクトへの参加
発信	個人の SNS、ブログ、HP 等における地域情報の発信
購入	各地域の産品の購入
コミュニケーション	電話・SNS 等による各地域の家族・友人との連絡
VISIT	家族・友人に会うための地域への訪問

3 モデル事業の取組内容

3.1 取組みの全体像・スキーム

(1) 可視化ツールとして actcoin を活用

本事業では、関係人口の可視化ツールとして、ソーシャルアクションカンパニー株式会社が運営する「actcoin（アクトコイン）」を活用しました。

actcoin は、ブロックチェーンで個人の社会貢献活動を定量化するオンラインサービスです。企業、NPO 等が社会貢献・SDGs に関するプロジェクトオーナーとなり、個人の参加、賛同に独自コインを付与することで、社会貢献を“見える化”します。参加者はスマートフォン上で、自身の社会活動・SDGs 活動の状況を数字とグラフィックで確認することができます。

今回のモデル事業では、この技術・サービスをベースに、都市と地域をつなぐ人と心の流れづくりに特化した特設サイトを開設し、関係人口創出における ICT 活用型の新たな中間支援モデルを構築しました。

【actcoin の概要】



(2) actcoin を活用した関係人口可視化ステップ

本事業では、地域側、都市部住民側が次の3ステップを踏むことで、関係人口の状況が可視化する仕組みを構築しました。

ステップ1：自治体・地域団体等による関係人口関連の取組・イベントを actcoin に登録

actcoin サイトに特設ページ「あなたと地域のつながりプロジェクト」を開設します。地方自治体・地域団体等は当該地域における関係人口関連プロジェクトを企画し、事務局にて特設サイトに当該イベントを登録します。

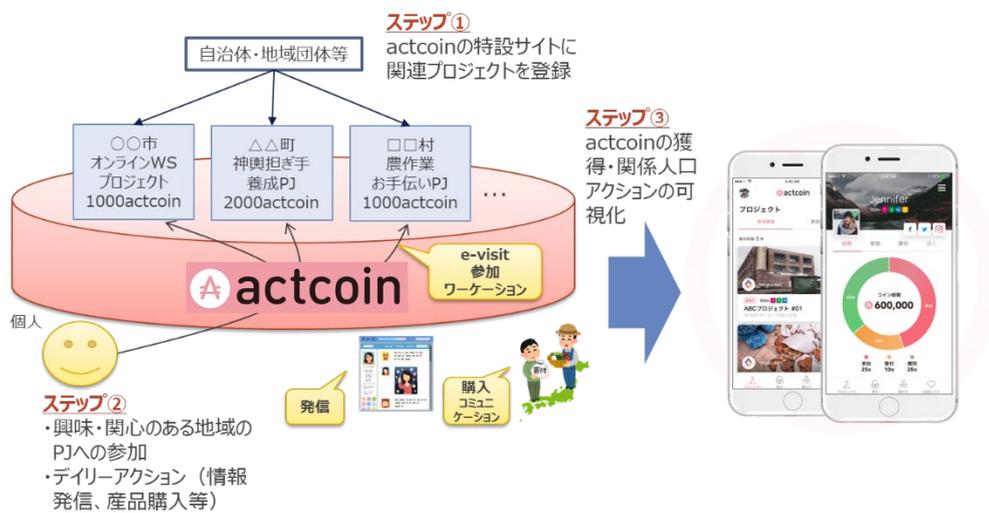
ステップ2：都市部住民が関係人口に関するアクションを実施

関係人口に興味のある地域外の住民等は、特設サイトに掲載されたさまざまなプロジェクトから興味のある地域のプロジェクトに参加します。また、当該地域についての日々の情報発信や地域製品の購入も「デイリーアクション」として登録します。各個人は、スマートフォンのアプリか、インターネットブラウザを使用して actcoin の個人アカウントを作成のうえ登録します。

ステップ3：登録者に独自コインを付与

個人が実施・登録するさまざまなアクションに対して、その行動に応じた actcoin を付与します。行動履歴や獲得したコイン数により、個人と地域の関係人口レベルが「可視化」されます。
 ※今年度は実証事業のため、通常の actcoin の積算（社会貢献に関する行動によって獲得したコイン）と区別せずにコインが積み上がる仕組みとしました。

【関係人口可視化ステップ】



(3) 本事業で可視化する関係人口アクション

従来の actcoin では、社会貢献活動に関する「参加」「寄付」「習慣」を可視化していました。今回のモデル事業では、地域と個人がつながる次のアクションを可視化することとしました。

【従来の actcoin】

【本事業でのカスタマイズ】



可視化するアクション	具体的活動例
e-VISIT	オンラインを活用した交流事業
参加	各地域が募集する関係人口関連プロジェクトへの参加
発信	個人のSNS、ブログ、HP等における地域情報の発信
購入	各地域の製品の購入
コミュニケーション	電話・SNS等による各地域の家族・友人との連絡
VISIT	家族・友人に会うための地域への訪問

3.2 期待される効果・KPI

行動経済学領域では、数値化等の「可視化」により、「行動喚起」「意欲向上」「行動持続」等の効果があることが知られています。

本事業による関係人口の可視化によっても、次のような効果（アウトカム、インパクト）が生まれることが想定されます。

期待される効果		内容
個人	訪問の回数が増える	「VISIT」「参加」の回数などを可視化することにより、各地域への訪問意欲を喚起し、訪問回数等が増える。
	毎日の“つながり”が増える New Normal 対応	「e-VISIT」「発信」「購入」「コミュニケーション」などの可視化により、実際に訪問しなくても実施可能な関係づくりが推進される。
地域	自らの“関係人口ポートフォリオ”がわかる	関係人口の多寡に加えて、他地域と比べた特徴がわかる。関係人口促進施策の元データとなる。
	多様な関係人口が増える New Normal 対応	実際の訪問を伴うアクションに加え、資金や情報、製品のやりとりなど、継続性のある多様な関係人口を醸成できる。

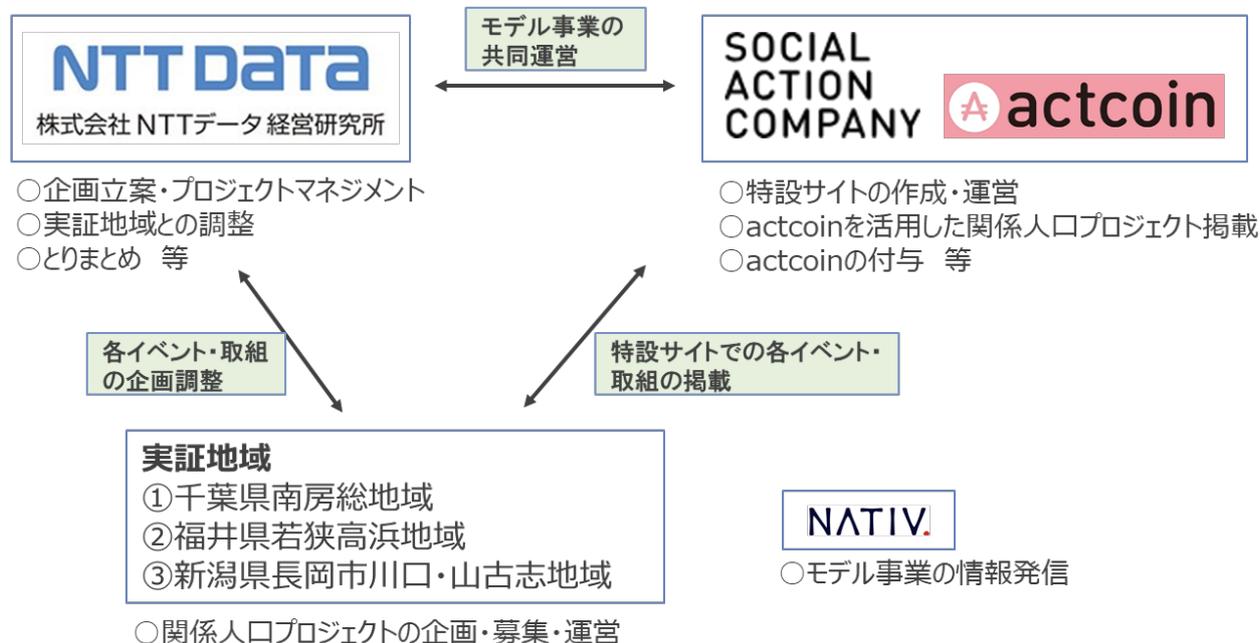
これらの効果を測定するため、本事業では下記の KPI を設定しました。

期待される効果		KPI と検証方法
個人	訪問の回数が増える	・ 訪問回数・リピート率 actcoin への登録によりカウント
	毎日の“つながり”が増える New Normal 対応	・ アクション数・リピート率：「発信」「購入」「コミュニケーション」「イベント参加」などの実績データ ・ 地域とのつながりに関する実感：ユーザーアンケートにより把握
地域	自らの“関係人口ポートフォリオ”がわかる	・ アクション別関係人口数：各アクションの実績データとその地域比較
	多様な関係人口が増える New Normal 対応	・ アクション別関係人口数：各アクションの実績データとその地域比較 ・ 関係人口数に関する実感：関連団体へのヒアリング

4 事業実施に係る運営体制

4.1 事業実施体制

本事業は、下図の実施体制により運営しました。



4.2 事業実施団体及び関係機関の役割

実施団体及び関係機関	役割
株式会社NTT データ経営研究所	事業全体の企画立案・マネジメント 実証地域との調整 とりまとめ 等
ソーシャルアクションカンパニー株式会社	actcoin を活用した特設サイトの開設・運営 関係人口関連イベント・取組の掲載、デイリーアクションの設定 登録者への actcoin の付与 等
ネイティブ株式会社	モデル事業の情報発信
シェア里山ヤマナハウス 南房総市観光協会	(実証地域) 南房総地域における関係人口関連イベントの企画・募集・運営
高浜町総合政策課	(実証地域) 若狭高浜地域における関係人口関連イベントの企画・募集・運営
長岡市地域振興戦略部 川口エンジン	(実証地域) 川口・山古志地域における関係人口関連イベントの企画・募集・運営

5 事業実施内容

5.1 実施スケジュール

スケジュールは下記の通り実施しました。

当初の想定から、プロジェクト全体のイベントを2つ追加することとしました。1つは、イベント参加の登録が進まなかったため、10月中旬にオンラインのキックオフイベントを開催することとしました。また、デイリーアクションの登録を促進するため、12月に「デイリーアクション登録キャンペーン」を実施することとしました。

【実施スケジュール】

実施事項	5月			6月			7月			8月			9月			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
1 モデル事業実施にむけた設計	独自コイン付与基準、成果検証方法の検討等															
2 モデル事業実施に向けた運用体制の構築							actcoin for 関係人口 特設WEBサイト構築									
3 モデル事業の実施 ・参加者募集関係							実地地域との調整			参加者募集						
・事業実施																
・アンケート実施																
4 成果検証・取りまとめ																

実施事項	10月			11月			12月			1月			2月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1 モデル事業実施にむけた設計															
2 モデル事業実施に向けた運用体制の構築															
3 モデル事業の実施 ・参加者募集関係	参加者募集														
・事業実施	★ イベント開催			★ モデル事業実施 独自コインの付与 ★ デイリーアクション登録 キャンペーン											
・アンケート実施							アンケート作成			参加者へのアンケート実施・回収					
4 成果検証・取りまとめ										成果検証・報告書作成					★ 報告書提出

5.2 活動内容① 特設サイトの構築

2021年8月に、actcoin上に特設サイトを開設しました。<https://actcoin.jp/tiiki/index.html>

より多くの人に訴求するよう、「関係人口」という行政的用語は使わずに、「あなたと地域のつながりプロジェクト 見える化で支える持続可能な地域づくり」と題して、プロジェクトの趣旨や地域とつながるさまざまなアクション等を掲載しました。

<構成コンテンツ>

- ・プロジェクトの概要
- ・地域とつながるさまざまなアクションの紹介
 - action01 地域のイベント・取組に参加
 - action02 日常生活の中でできるアクション
- ・実証地域の紹介
- ・関係人口の解説
- ・関連リンク 等

【特設サイト画像（抜粋）】



5.3 活動内容② キックオフイベントの実施

関係人口関連プロジェクトの特設サイトにおけるイベント登録は9月から実施しましたが、さらに本事業を周知し、登録を促進するために、2021年10月17日に、下記の通りキックオフイベントとしてオンライン座談会を開催しました。約100名の申込があり、この分野の関心の高さを感じることができました。

なお、開催結果については、イベントレポートとしてホームページにて発信しました。

<https://www.nttdata-strategy.com/knowledge/reports/2021/1130/>

あなたと地域のつながりプロジェクト キックオフイベント：

地方創生牽引世代のガチトーク！官・民のキーパーソンが語る関係人口の可能性とは

日時：2021年10月17日（日）15：00～17：00

開催方式：オンライン（ZOOM）

登壇者（順不同）：脇 雅昭 神奈川県理事／よんなな会発起人

井上 貴至 山形市副市長／地域力おっはークラブ主宰

三谷 繭子 株式会社 Groove Designs 代表／都市環境デザイナー

半田 兼一 株式会社地域創生 Co デザイン研究所マネージャー

薄井 大地 ソーシャルアクションカンパニー株式会社 COO

ファシリテーター：古謝 玄太 株式会社 NTT データ経営研究所マネージャー

プログラム：1. 登壇者紹介

2. テーマ1 “地方創生” が謳われて7年間を経て、これからの地域活性化に必要なこととは？

3. テーマ2 第2期総合戦略のキーワード「関係人口」に期待することは？

4. クロストーク・質問タイム

5. クロージング

視聴申込：約100名



イベントチラシ（actcoin ユーザへの DM や、SNS での発信・投稿により周知）

登壇者の様子



5.4 活動内容③ 実証地域における関連イベント・取組の実施

2021年9月以降に、本事業のモデル地域として連携・協力した3地域の関係人口関連イベント・取組を特設サイトに掲載し、actcoinの申請を受け付けました。

結果、合計22のイベント・取組を掲載し、延べ92名の登録申請がありました。

この申請人数は、イベントへの参加者を示すものではなく、イベント・取組へ参加した方のなかで、actcoinに申請した方の数です。イベント自体は、各地域の主体が企画・募集・運営しているため、そのイベントの中で、actcoin登録に関するチラシを配布（オンラインイベントの場合は画面表示で案内）し、登録を呼びかけました。

その結果、オンラインイベントについては比較的登録につなげることができましたが、リアルイベントではほとんど登録に結び付けることができませんでした。

これは、actcoinに登録するためにはスマートフォンへのアプリのダウンロードやサイトへの登録が必要であるため、オンラインイベントの場合はPCやスマートフォンの入力にスムーズに誘導することができた一方で、リアルイベントの場合は、登録が後回しになってしまい、結局登録しないことが多かったこと、また、参加者に対してactcoin登録のメリットを明確に打ち出すことができなかったことが原因だと考えています。

【特設サイト掲載イベントと申請人数】

場所	イベント名	日時	申請人数	備考
南房総	次世代二次交通BOSO E-TUKTUK	～2月	0	
	プラスチックアートづくり体験	～2月	2	
	サーキットマルシェ	10/30（土）	1	
	フードロス酒場	11/20（土）	0	
	ヤマナアカデミーアウトドア編	12/11-12	0	
高浜	ワクワク日本海ワーケーション（Social Well-being Fes）	9/14（火）	13	オンライン
	新たな漁村が描く「おいしい循環」（Social Well-being Fes）	9/16（木）	7	オンライン
	若狭高浜～京都・奈良のつながり（Social Well-being Fes）	9/19（日）	13	オンライン
	ワクワク子育てアップデート（Social Well-being Fes）	11/9（火）	5	オンライン
	ワーケーション（10月分）	10月	2	毎月QR発行
	ワーケーション（11月分）	11月	3	毎月QR発行
	ワーケーション（12月分）	12月	5	毎月QR発行
	ワーケーション（1月分）	1月	11	毎月QR発行
長岡	メスティンを使って山古志の新米を炊こう	11/7（日）	0	
	第68回長岡市錦鯉品評会&鯉こいまつり	10/31（日）	1	
	木沢「やまぼうし」秋のごっつおを楽しむ会	11/20（土）	0	
	やまぼうしに泊まって木沢集落の歴史や震災からの復興を知る	～2月	0	
	川口「きずな館」訪問	～2月	0	
	復興交流館おらたる訪問	～11月	1	
	おぐに和紙の工房見学&紙漉き体験	～2月	0	
	越後川口生ハム塾	1月～2月	0	
その他	キックオフイベント 地方創生牽引世代のガチトーク	10/17（日）	28	オンライン

【特設サイトでのイベント・取組の掲載（例）】



募集中 1人が参加予定 **参加して応援**

【長岡・山古志】復興交流館おらたる…

📅 2021年10月～11月
📍 オンラインイベント

SDGs **11**

あなたと地域のつながりプロジェクト **A 2,000**



募集中 3人が参加予定 **参加して応援**

【11月】暮らすように働く。高浜町で…

📅 2021年11月～11月
📍 オンラインイベント

SDGs **8 11**

あなたと地域のつながりプロジェクト **A 5,000**



募集中 2人が参加予定 **参加して応援**

【10月】暮らすように働く。高浜町で…

📅 2021年10月～10月
📍 オンラインイベント

SDGs **8 11**

あなたと地域のつながりプロジェクト **A 5,000**



終了 13人が参加予定 **参加して応援**

【高浜町】ワクワク日本海ワーケシ…

📅 2021.09.14 (火) 19:30～21:30
📍 オンラインイベント

SDGs **8 11**

あなたと地域のつながりプロジェクト **A 2,000**



終了 7人が参加予定 **参加して応援**

【高浜町】新たな漁村が描く「おいし…

📅 2021.09.16 (木) 19:30～21:30
📍 オンラインイベント

SDGs **8 11**

あなたと地域のつながりプロジェクト **A 2,000**



終了 13人が参加予定 **参加して応援**

【高浜町】「若狭高浜～京都・奈良の…

📅 2021.09.19 (日) 19:30～21:30
📍 オンラインイベント

SDGs **8 11**

あなたと地域のつながりプロジェクト **A 2,000**

【オンラインイベントでの登録案内スライド（例）】



本イベントは、人と地域のつながりを“見える化”し、地域のサステナビリティを高める実証プロジェクト「あなたと地域のつながりプロジェクト」※の対象イベントです。地域イベントへの参加に加え、SNSでの発信など日常の地域とつながるアクションもactcoinで可視化します。

※内閣府「令和3年度関係人口創出・拡大のための中間支援モデル構築に関する調査・分析業務」採択事業

一人一人の社会貢献活動を可視化し、新しい価値になることを目指すプラットフォームサービスです。社会課題についての学びや、課題解決に向けた実践などの「ソーシャルアクション」に対してコインを付与します。日常の中でできる新しい学びや、あなたにできるアクションを見つけることができます。アクションをきっかけに今までにない新しいつながりが生まれていきます！

アクトコインで出来ること

- イベントへの参加
- イベントのシェア
- 寄付
- 地域とつながる生活習慣
- ソーシャルグッドな情報の発信

地域とつながるアクションを可視化





本プロジェクトに参加いただいた方の中から、地域発のエシカルな商品のプレゼントなどの特典を予定。貯めたコインは今後、寄付に使ったり、やエシカルな商品、サステナブルなサービスと交換できるようにすることを構想しています。

actcoinに登録

アプリのダウンロード、
Web版での登録がまだの方はこちらを！

iPhoneをご利用の方



iOSアプリ

アンドロイドをご利用の方



Web版

ログインして、こちらから今日の
イベントに参加申請してください
(当日の24時まで参加可能)



本日のイベント参加で2,000コインを獲得
できます。

【リアルイベントでの配布チラシ（例）】

あなたと地域の
つながりプロジェクト

見える化で変える持続可能な地域づくり

登録受付中！
今回の参加で
2500コインが
行きます！

越後川口生ハム塾へご参加の皆様へ



越後川口生ハム塾は、「あなたと地域のつながりプロジェクト」に協力しています。
このプロジェクトは、あなたと長岡川口・山古志地区のつながりの積み重ねを独自コイン(actcoin)で見える化する、新しいチャレンジです。
今回のイベントへの参加によって、**2500コインが貯まります**。
地域のイベントへの参加に加えて、農水産物の購入や、地域への訪問など、長岡とつながるさまざまなアクションへの参加で、どんどんコインが貯まります。
登録いただいた方の中から、地域発のエシカルな商品のプレゼントや限定ツアーへの招待などの特典を予定。また、貯まったactcoinをソーシャルグッドな寄付などに活用することも予定しています。
この機会にぜひご登録ください。

<コインをもらうには> ※詳しい登録方法は裏面をご覧ください。
① iPhoneアプリまたはWEB版でactcoinに登録
② イベントへの参加や日常の地域とつながるアクションに参加
③ アクションに応じてactcoinをゲット!

actcoin登録はこちらから
<https://actcoin.jp/tiki/index.html>



あなたと地域のつながりプロジェクト

人と地域がつながる様々なアクションを、ブロックチェーン技術を用いた独自コイン(actcoin)で「見える化」するトライアルプロジェクトです。
地域のイベントや店舗に参加することに加えて、「SNSでの発信」「地域産品の購入」「ふるさと納税」などの日常のアクションにもコインを付与し、可視化します。
※内閣府「令和3年度関係人口創出：拡大のための中間支援モデル構築に関する調査・分析業務」採択事業
実施期間：令和3年8月～令和4年2月
実施地域：千葉県南房総地域、福井県若狭高浜地域、新潟県長岡市川口・山古志地域



可視化イメージ

登録 600,000

参加 600,000

寄付

■運営事務局：
株式会社NTTデータ経営研究所 <https://www.nttdata-strategy.com/>
ソーシャルアクションカンパニー株式会社 <https://actcoin.jp/index.html>
※actcoinはソーシャルアクションカンパニー株式会社が運営する、社会課題解決に向けた「ソーシャルアクション」も、独自のコインで可視化し、価値化するサービスです。

NTT DATA
NTT DATA
NTT DATA
SOCIAL
ACTION
COMPANY
内閣府
Cabinet Office

actcoin (アクトコイン) に登録して
「あなたと地域のつながりプロジェクト」に参加しよう！



登録はこちら！

④



電話番号を入力し、
認証コードを発行する。

③



メールアドレスとパスワード
を設定。もしくはfacebook
で登録。iOSアプリはApple
IDでも登録できます。

②



iOSアプリまたはWeb
版で登録できます。

①



公式ページの「参加登録」
をクリック！

⑤



ショートメッセージに届いた
認証コード（数字6桁）
を入力する。

⑥



登録完了！
ログインし、基本設定をし
たら、次のQRコードを読み
取って参加ボタンをON!

「越後川口生ハム塾
～自分の生ハムを自分で仕込む
あなたも生ハムオーナーに～」
に参加でコインをget！



読み込むとコインが付与されます！

このプロジェクトのチームコード（組織コード）を設定してアクションをしよう！

登録完了したら基本設定（プロフィール設定）でチームコードを設定し、「習慣」機能のデイリーアクションで「あなたと地域のつながりプロジェクト」のアクションを選択してください。アクションの多い参加者に地域からプレゼントの特典もご用意しています！

チームコード **[888002]**

5.5 活動内容④ デイリーアクションの登録

従来の actcoin の機能として、社会貢献活動に関する日々の習慣を登録することができました。たとえば、「プラスチックのごみを出さなかった」「書類のプリントを控えた」などです。これを「デイリーアクション」と呼びます。

本事業では、このデイリーアクション機能を活用し、個人と地域がつながる日々の活動を見える化することに取り組みました。

具体的には、2021年10月から、実証地域に関する「発信」「購入」「訪問」「コミュニケーション」「関連イベントへの参加」を日常の関係人口アクションとして登録できるように設定しました。

【デイリーアクションの登録画面】



デイリーアクションで登録できる行動

- ・〇〇地域の情報をブログやSNSで発信した
- ・〇〇地域の農水産品や特産品を購入した
- ・〇〇地域にいる家族や友人に会いに行った
- ・〇〇地域にいる家族や友人と連絡をとった
- ・〇〇地域関連イベントに参加した

2021年10月から2022年2月7日迄の間において、延べ30名の方にデイリーアクションを登録いただき、登録アクションは合計839回となりました。

その内訳は次の表のとおりです。

【地域別の登録人数及びアクション別の登録回数】

地域	アクション	登録回数
南房総地域 312回 13人	南房総地域の情報をブログやSNSで発信した	102
	南房総地域の農水産品や特産品を購入した	96
	南房総地域にいる家族や友人に会いに行った	77
	南房総地域にいる家族や友人と連絡をとった	21
	南房総地域関連イベントに参加した	16
若狭高浜地域 271回 9人	若狭高浜地域の情報をブログやSNSで発信した	97
	若狭高浜地域の農水産品や特産品を購入した	81
	若狭高浜地域にいる家族や友人に会いに行った	71
	若狭高浜地域にいる家族や友人と連絡をとった	7
	若狭高浜地域関連イベントに参加した	15
長岡川口・山古志地域 256回 8人	川口・山古志地域の情報をブログやSNSで発信した	90
	川口・山古志地域の農水産品や特産品を購入した	91
	川口・山古志地域にいる家族や友人に会いに行った	10
	川口・山古志地域にいる家族や友人と連絡をとった	42
	川口・山古志地域関連イベントに参加した	23

6 モデル事業としての成果検証

6.1 事業成果（目標達成状況）

【事業の目標・達成状況】

	目標 (定量目標の場合は目標数値も記載)	達成状況
1	地域への訪問回数が増える	デイリーアクション登録者延べ 30 名のうち、同一地域に複数回「訪問」した方は 5 名（約 17%）であった。 新型コロナウイルス感染状況により、人の移動についてはあまり促進されなかったと推察される。
2	毎日の「つながり」が増える	デイリーアクション登録者延べ 30 名によって、839 回の日々の「地域とつながる行動」が登録された。 また、参加・登録者に対するアンケートの結果、約 54%の方が地域への関心が高まったと回答した。 見える化の仕組によって、毎日のつながりが意識されたと考えられる。
3	地域において、自らの関係人口ポートフォリオが分かる	6.2 のとおり、自らの地域の関係人口の傾向や、他地域との比較が分かり、施策の P D C A に活用できることが確かめられた。
4	多様な関係人口が増える	6.2 のとおり、イベント参加者だけでなく、日々の地域とつながる行動の実践者など、多様な関係人口を把握することができた。ただし、イベント・取組の参加による行動変容まで確認することはできなかった。

6.2 事業成果（関係人口の地域とのかかわり方）

(1) 本事業全体の成果

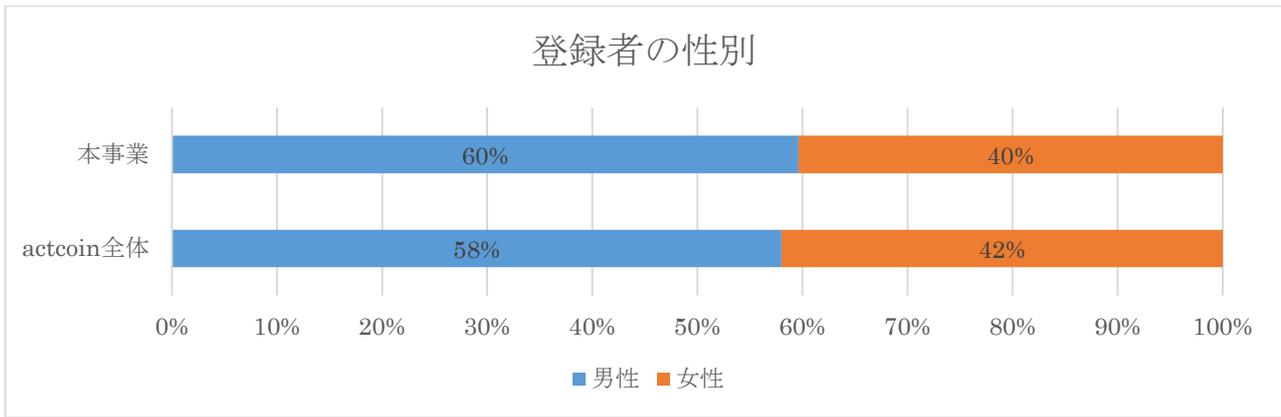
本事業では、5.2～5.5 に記載の取組の結果、73 名の方が actcoin へ登録されました（もともと actcoin に登録しており、今回の取組に参加された方含む）。actcoin の登録にあたっては、性別、年齢、居住都道府県の登録をいただいています*ので、今回の取組に関心のある方の属性がどのような傾向なのかを知ることができました。

※任意登録のため、未登録の方あり。以下のグラフは未登録者を除いて分析している。

また、actcoin 全体の登録者の傾向と比較することにより、社会課題解決に関心が高い層との比較を実施することができました。

① 性別

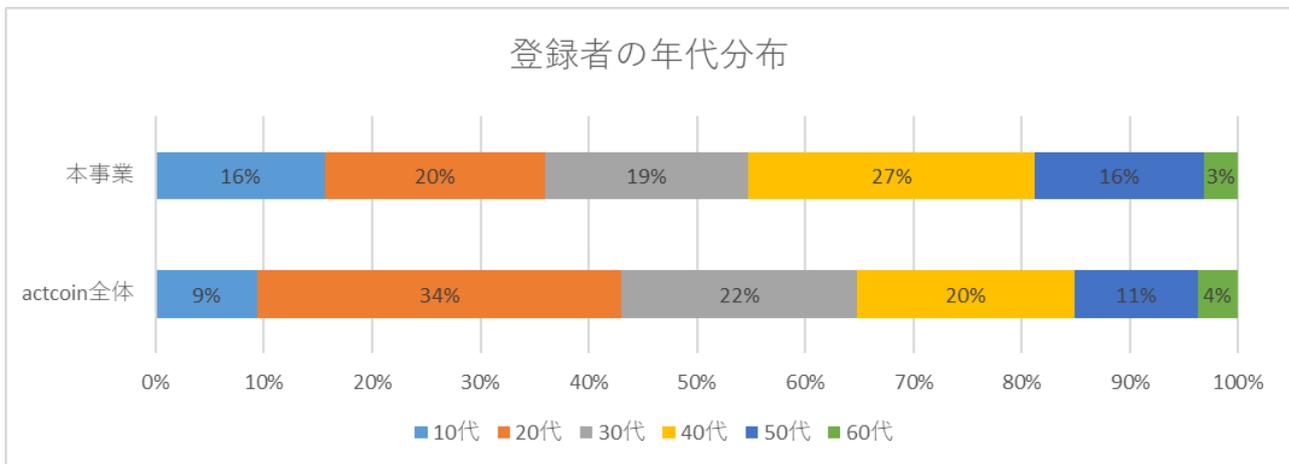
登録者の性別は約 6 割が男性でした。これは actcoin 全体の登録者の傾向とほぼ一致しました。



② 年代

本事業の登録者は、20代から50代にかけて幅広く分布していました。

actcoin 全体では、20代がもっとも多い登録者層となっているため、地域への関心は、年齢層が上の世代においても高いことが分かりました。



③ 居住都道府県

本事業の登録者の居住都道府県は、東京都が13名と最も多く、次いで京都府8名、大阪府6名、福井県・神奈川県各5名となりました。ただし、これは実証地域が3地域と限られていることから、ある程度偏りが出てきたものと考えられるため、actcoin 全体との比較は実施しませんでした。

④ デイリーアクションの相関関係

本事業のデイリーアクション登録において、それぞれのアクションの相関係数をとることにより、地域とつながるさまざまな行動が、相互にどのような関連を持っているかについて調べました。

その結果、「イベント参加」と「発信」・「購入」に強い相関が見られ、イベントに参加することでSNS等での発信や日々の地域産品購入が促進されることが分かりました。一方で、「イベント参加」と「コミュニケーション」、「発信」と「コミュニケーション」には相関関係が見られず、その地域にいる方との連絡はイベントへの参加や発信とはあまり関連しないことが分かりました。こうした行動の相関は、これまで感覚的に認識されていたものが、定量的に“見える化”することができたと言え、一定の意義があったものと考えています。

今年度の限られた人数での実証結果であるため、今後人数や登録件数が増えることで、より信頼性を高めることが可能と考えています。

相関係数	発信	購入	訪問	コミュニケーション	イベント参加
発信	1				
購入	0.72	1			
訪問	0.19	0.34	1		
コミュニケーション	-0.05	0.60	0.16	1	
イベント参加	0.99	0.75	0.31	-0.03	1

(2) 地域の関係人口の可視化

本事業の目的は、地域の多様な関係人口を見える化し、どのような関係人口がいるのか、その関係人口はどのような行動をとっているのかを把握することです。

ここでは、実証地域のひとつである福井県若狭高浜地域での取組の結果について成果をお示しします。

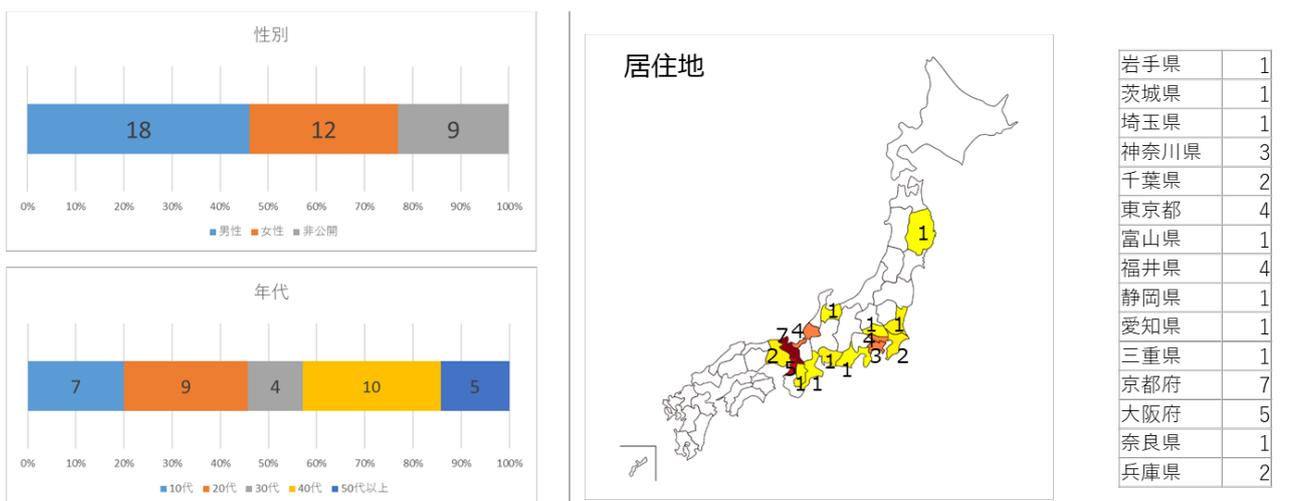
※あくまで本事業で登録された関係人口について実験的に分析したものであり、当該地域のすべての関係人口について分析したものではありません

①高浜地域の関係人口の傾向

高浜地域のイベント・取組・デイリーアクションに登録した 39 名についてその属性を分析しました。その結果、次の傾向があることが分かりました。

- 性別は全国の傾向と同様、男性のほうが多い
- 年代は、40代と20代が多い一方で、30代は少ない
- 居住地は、福井県内を除けば関西圏在住者が最も多く、ついで首都圏在住者が多い

【高浜地域の関係人口の傾向】



②高浜地域における関係人口が地域とつながる行動の傾向

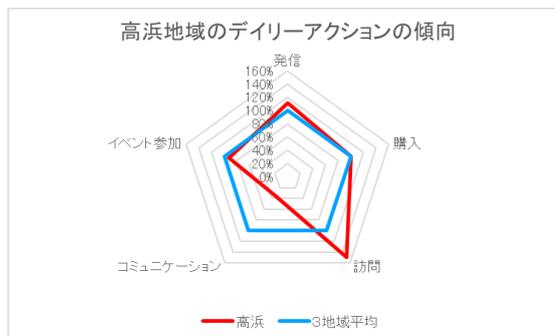
高浜地域においては、9名が合計 271 回のデイリーアクションに登録しました。その傾向を他地域と

比較した結果、次の傾向があることが分かりました。

- ▶ 高浜地域では、全国平均と比較すると関係人口が積極的に地域とつながるアクションを実施している
- ▶ 特に「地域への訪問」が多く、地域情報の「発信」も平均を上回っている
- ▶ 一方で、地域住民とのコミュニケーションは平均を下回っている

【高浜地域のデイリーアクション分析】

アクション	高浜実施回数 (9名)	3地域合計 実施回数 (30名)	高浜ひとり あたり 実施回数	3地域ひとり あたり 実施回数
地域情報の発信	97	289	10.8	9.6
地域製品の購入	81	268	9.0	8.9
地域への訪問	71	158	7.9	5.3
コミュニケーション	7	70	0.8	2.3
地域イベント参加	15	54	1.7	1.8
合計	271	839	30.1	28.0



③高浜地域のイベント参加者の傾向

高浜地域のイベントの参加者について、その属性を分析した結果、次の傾向があることが分かりました。なお、ワーケーションはひとつのリアルイベントとしてカウントしています。

- ▶ 「子育て」に関するイベントは、40代の参加者が多い
- ▶ 「歴史」に関するイベントは50代以上の参加者が多い
- ▶ 「働き方」に関するイベントは20代及び40代の参加者が多い
- ▶ 実際にワーケーションを実施する人も20代以下の若い世代又は40代が多い

【各イベントのテーマ等及び参加者属性】

	テーマ	オンライン/ オフライン	10代		20代		30代		40代		50代以上	
			男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
ワクワク子育てアップデート	子育て	オンライン	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0
おいしい循環	食	オンライン	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1
京都・奈良のつながり	歴史	オンライン	0	0	0	1	2	0	1	1	3	2
ワクワク日本海ワーケーション	働き方	オンライン	0	0	3	2	1	0	3	1	1	1
ワーケーション	働き方	リアル	3	2	0	4	2	0	3	2	0	0

④高浜地域のイベント参加者のその後の地域ファン化傾向

イベント参加者の、その後のデイリーアクションを把握することにより、参加者が地域のファンになったかどうかの分析ができるようになります。たとえば、「『食』に関するイベントの参加者は、その後、当該地域の農水産品を購入するようになるか」といったことを知ることができます。

本事業では残念ながら、イベントに参加し、かつデイリーアクションを登録した者が少数であったため、分析ができませんでした。しかしながら、①～③に示したように、さまざまなデータを収集することができたため、一定数が集まればイベント参加者の行動変容について把握することが可能となること示唆されました。

6.3 事業成果（その他）

本事業において、掲載したイベント・取組・デイリーアクションに参加された方に対して、ネットアンケートを実施しました。その結果、15名の方から回答を得ました。

イベント参加やデイリーアクションによって地域とのつながりが「見える化」されることで、地域への関心が高まったかどうかの設問に対しては、54%の方が「高まった」と答え、残りは「どちらでもない」と回答されました。

また、地域とのつながりが可視化されることに関するご意見を自由記述でお願いしたところ、以下の意見をいただきました。

- ✓ 見える化することはよいことであると思う
- ✓ 可視化されていくことで、地域の経済や社会にプラスのことが起きる仕掛けがあると、より楽しく取り組める。
- ✓ 地域にとっては、地域の魅力の再発見や今後の発信のしかたや何かしら企画を立てる際に役立つのではないかと思う。
- ✓ イベントの回数を増やして多くの人を巻き込むのも大切だと思いました。
- ✓ 可視化されていくことで、地域の経済や社会にプラスのことが起きる仕掛けがあると、より楽しく取り組める。

以上のことから、個人と地域のつながりの可視化によって、ある程度の関心の高まりを惹起することはできたものの、可視化によってもたらす価値を明確に示すことができていないことが反省点として明確化されました。

6.4 本年度の課題と対応

(1) イベント参加者の actcoin 登録への誘導

特設サイトに掲載した実証地域におけるイベント・取組については、それぞれ一定の参加者がいましたが、そのうち actcoin に登録いただいた方は残念ながら少数でした。特に、リアルイベントの場合は、アプリのダウンロードや登録を後回しにしてしまいがちで、ほとんど登録に誘導することができませんでした。配布チラシをできるだけ分かりやすいものに変更することや、説明時間を設けての登録のご案内、立て看板の設置などで登録の周知を図りましたが、課題解決には至りませんでした。

次項のデイリーアクションの登録も同様ですが、どのように個人の参加者に対して actcoin の登録に魅力を感じていただけるかが今後の大きな課題と認識しています。

(2) デイリーアクション登録の促進

日々の地域とつながる行動の登録（デイリーアクションの登録者）についても、登録が伸び悩みました。そのため、12月には、デイリーアクション登録キャンペーンと題して、デイリーアクションを登録した方に対して、実証地域の産品があたるキャンペーンを実施しました。その結果、一定数の登録に結び付けました。

しかしながら、プレゼントで促進することはひとつの手段ではありながらも、恒常的な促進策とはなりえないことから、日々の行動を登録することのインセンティブやきっかけをどのように付与するのが大きな課題となっています。

6.5 今後の事業のあり方

今年のモデル事業を実施した結果、6.2に記載したとおり、「地域」にとっては関係人口の可視化を実現することができ、自らの地域の関係人口の傾向、そしてその関係人口がどのような行動をとっているのかを把握することを示すことができました。

一方で、6.4に記載のとおり、「個人」に対しては、actcoin を登録し、自らの関係性を可視化することの価値やメリットを十分に示すことができませんでした。

今後は、地域とより密接に連携・協力し、たとえば多くの地域とつながる行動を登録した方に対しては、名誉関係人口として限定イベントに招待することなど、モノで誘導するのではなく、体験（コト）や名誉などで促進することを検討していきたいと考えています。あわせて、オンラインイベントでは比較的スムーズに登録へ誘導することができたことから、イベント運営での工夫も検討する余地があると考えています。

7 自立化・自走化の検討

7.1 関係人口可視化のプラットフォームとしての自走化

本事業では、既存の actcoin の仕組みを活用し特設サイトを開設することで「関係人口」に関する取組の掲載やデイリーアクション登録の仕組みを整備しました。今後、関係人口可視化のプラットフォームとなるためには、地域ごとに貯まった actcoin が参加者からも明確に区分されて見ることができる仕組みや地域ごとの比較機能等を付与することが必要になると考えています。

一方で、実証的な事業であっても、関係人口の「可視化」によって地域の関係人口が具体的に分析でき、これまで定量的には見えていなかった、地域にいても地域に貢献している人がいることが分かりました。

今後の自走化に向けては、この実験結果を踏まえ、多くの自治体や地域団体からの賛同を得て、タイアップや掲載手数料を得ることによって事業の継続を検討します。

多くの自治体や地域団体の関係人口事業のプラットフォームとなることによって、収集・分析するデータ自体の価値も向上し、充実した分析結果を地域側に示せると考えています。

8 他地域への横展開の可能性の検討

8.1 全国の関係人口プロジェクトのプラットフォームへ

本モデル事業では、自らの地域がどのような関係人口を抱えており、その関係人口がどのような行動をとっているのかを可視化することに成功しました。

これにより、どのような事業を実施すればどのような関係人口が増えるかが把握できるため、地域の関係人口関連施策のPDCAを回すことが可能になると考えています。

こうした取組は、全国どんな地域、どんな事業主体でも活用可能であり、むしろ地域が増えることによって、他地域と比べて自らの地域の関係人口がどのような特徴を持っているかが分かりやすくなります。

関係人口の可視化における「地域」の価値、「個人」の価値の双方を示しながら、多くの地域が参加する関係人口のプラットフォームとなることをめざしていきます。